

県北芸術村推進事業交流型アートプロジェクト vol.2

岡本晃樹 Echoed Body

ジャグリングと映像によるパフォーマンスアート



2018年9月29日

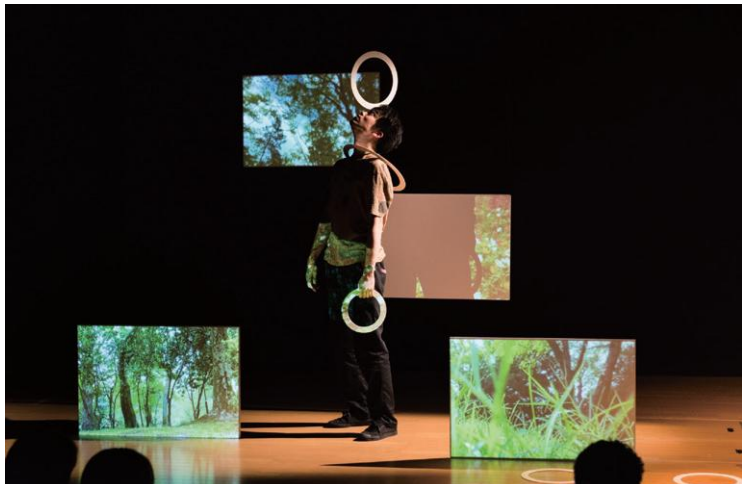
多賀市民会館小ホール1・2 (茨城県日立市千石町 2-4-20)

[公演時間] 第1回 13:30-14:10 / 第2回 15:30-16:10 *開場は開演の30分前

入場無料 | 事前申込優先(定員各回50名)

[主催] 茨城県 [企画] エヌ・アンド・エー(株)

Meets KENPOKU



岡本晃樹・おかもと てるき

1990年、大阪府生まれ。横浜市育ち。茨城県在住。

ジャグリングパフォーマー／アーティスト。

学生時代にジャグリングに出会う。IJA（国際大会）ジュニアチャンピオンシップで3位を獲得するほか、国内外のイベントに多数出演。メディアアートやインスタレーションへの興味から、ジャグリングを単なる技術や曲芸ではなく、空間表現の手段として考えるようになる。また、時間軸のある表現手段であるパフォーマンスを拡張できるのは同じく時間軸のある「映像」であると考え、ジャグリングと映像のプロジェクションを組み合わせたインスタレーションパフォーマンス「LOSTSCAPE」を創作。その風景的な美しさは好評を得ており、国内外を問わずファンが多い。

アーティストからのメッセージ

僕が日立市を訪れ強く感じたのは「ものにも記憶が宿るということは確かに存在するはずだ」ということでした。大煙突の崩落の話にとっても感銘を受けました。あれほどの大きさの建造物が、それほど静かに、人を巻き込むこともなく崩れていった。それはやはりあの場所だから起こったことなのだと思います。独特の思想が渦巻く鉾山という場所で、煙突にも何かしらの意志が宿ったのではないだろうか、人々と記憶を共有していたのではないだろうかと思えて仕方ないのです。

鉾山というのは水産物や森林、動物の食肉と違って「掘り尽くしてしまう」という終結が存在する資源です。

その中で、あれほどの人間が密集して生活する。きっと何かしら独特の信仰、そう呼べるほど強大なものではなかったかもしれませんが、何かしら信じる方向性はあったのではないかと思います。それが例えば、一山一家という意識であったり、山中友子という制度であったり、今からすると少し理解が難しい、当時においても他の場所とは少し違う独特な記憶が絡み合っている場所だったのではないのでしょうか。

今回僕は、常陸多賀の皆様から、とりとめのないことから鉾山や場所にまつわることで「個人的な記憶」を聞かせていただき、それを発想の基礎にしてパフォーマンスを制作します。

言葉という具体的なものと、それをあえて抽象的な動きに置き換えたパフォーマンスを並置することで、そういった記憶の「言葉にできないけれど存在している部分」にアクセスできたらと思っています。

県北芸術村推進事業「交流型アートプロジェクト」とは

風光明媚な海と山が織り成す豊かな自然に恵まれた茨城県北地域は、かつて岡倉天心や横山大観らが芸術創作活動の拠点とした五浦海岸、クリストのアンブレラ・プロジェクトで世界の注目を集めた里山をはじめ、独自の気候・風土や歴史、文化、食、地場産業など、多くの創造的な地域資源を有しています。こうした資源の持つ潜在的な魅力をアートの力を介して引き出すことにより、新たな価値の発見と地域の活性化を図るため、「KENPOKU」地域を舞台として2016年秋に「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」を開催しました。

未来に向けて、県北地域は、芸術村へ変わっていくことをミッションとし、2018年もアートを活用したまちづくりに取り組みます。「交流型アートプロジェクト」は、地域外からのアーティストを県北地域に招聘し、地域の方々とコミュニケーションをとりながら行うアートプロジェクトです。3組のアーティストが、約1ヶ月間、それぞれに滞在拠点をもち、地域との関係を深めながら制作活動を行います。各プロジェクトの詳細は、芸術祭公式ホームページ内「イベント」にてお知らせいたします。

<https://kenpoku-art.jp/event/>

Meets KENPOKU とは

「Meets KENPOKU」は、「KENPOKU に出会える」ことをコンセプトにトーク、ワークショップ、交流会等、参加者との双方向的なコミュニケーションを図る様々なアートイベントです。

*このほか、芸術祭の会場となった6市町でも年間を通して様々なアートイベントが開催されています。詳細については、芸術祭公式ホームページをご覧ください。

交通のご案内

会場：多賀市民会館 小ホール（茨城県日立市千石町2-4-20）

自動車でのアクセス：常磐自動車道日立南太田ICより国道6号線をいわき方面へ向かい約20分。*多賀市民会館の駐車場は有料です。(30分100円)

公共交通機関でのアクセス：常陸多賀駅より多賀市民会館まで徒歩約10分。

常陸多賀駅まで、東京駅より常磐線特急ひたちにて約1時間30分。

自動車でのアクセス



公共交通機関でのアクセス



その他のお問い合わせ

〒310-8555
茨城県水戸市笠原町978番6
茨城県政策企画部県北振興局
Tel: 029-301-2727
Email: info@kenpoku-art.jp
www.kenpoku-art.jp

お申し込み方法

件名を「岡本晃樹公演」とし、ご希望公演回、お名前(ふりがな)、お電話番号、ご参加人数を明記の上、メールかFAXまたは申込フォームにてお申し込みください。

エヌ・アンド・エー（株） Meets KENPOKU 担当宛て

Email: kenpoku@nanjo.com

FAX: 03-3261-6066

申込フォーム: <https://kenpoku-art.jp/event/>

*公演中の様子を記録撮影いたします。記録物は、広報媒体等に掲載させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。